

令和6年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月5日実施)	総合評価(3月17日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程学習指導	一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。	①教育課程の見直しを図るために、外部講師を招聘し、助言をいただきながら、研究に取組む。 ②一人ひとりに応じたICTを活用した授業展開ができるよう研修会を行い、授業実践を共有し、構築していく。	①外部講師を招聘し、校内研究の進め方について助言をいただき、共有理解を図る。 ②研修会を実施する。	①外部講師を招聘し、校内研究の進め方について助言をいただき、共有理解を図ることができたか。 ②研修会を実施することができたか。	①外部講師を招聘し助言をいただいた。各学部とも、80%以上の職員が、共通理解を図られたと思っている。 ②研修会を実施し、高等部教員の84%がICTを活用した授業実践を共有できたと思っている。	①今年度は、試行的な取組み。次年度以降は本格実施となる。引続き外部講師を招聘し、取組む。 ②引続き研修会を行い、スキルアップを図る。	①外部講師を招聘し、取組む。 ②研修会を行い、スキルアップを図る。	①外部講師を召喚し助言をいたいたことで、スタートをきることができた。 ②研修会を実施したことで活用が進んだ。まだ、十分とは言えない。	①共通理解を図りながら進めるために、外部講師を召喚し取組む。 ②引続き研修会を行い、スキルアップを図る。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	個別教育計画の作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させながら、指導に取組む。 ②意思決定力の大切さを理解し、児童生徒が選択できる量や質を高めていく。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させ、指導に取組む。 ②意思決定支援についての研修会を実施する。	①児童・生徒のアセスメントをとり、児童生徒の実態に反映させ、指導に取組むことができたか。 ②意思決定支援についての研修会を実施することができたか。	①アセスメントと実態への反映はなされているが、指導が不十分だと思っている。全職員の80%は、取組めたと思っている ②研修会を実施し、意思決定の大切さを理解し選択できる質や量を高めることができたと全職員の93%が思っている。	①アセスメントの結果を指導に十分活かしきれていない。研修会が必要だと考える。 ②意思決定支援の研修会は引継続き行う。	①次のステップに進むためには、研修会が必要なのではないか。 ②意思決定支援で大切なことは、様々な経験をすること。その上で、選択できるようにしていく。	①アセスメントは実施できたが、上手く活用できていない。 ②研修会を実施し、意思決定の大切さを理解し選択できる質や量を高めることができた。	①活用できる研修会が必要である。 ②研修会は継続して行う。
3	進路指導・支援	地域の連携機関との連携を築き、児童・生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する。	①児童生徒一人ひとりが様々な場面で支援を受けながら主体的に取組み、自信が持てる教育を推進する。 ②家庭、関係機関と連携し、切れ目ない支援体制を構築する。	①児童生徒が主体的に取組めるよう教員一人ひとりが支援方法を考える。 ②個別面談等を通して、職員一人ひとりが、支援について考え、校内組織を活用して取組む。	①児童生徒が主体的に取組めるよう教員一人ひとりが支援方法を考えることができか。 ②個別面談等を通して、職員一人ひとりが、支援について考え、校内組織を活用して取組むことができたか。	①全職員の97%が支援方法を考えることができたと思っている。 【保】学校は、一人ひとりの実態把握を深め、教育的ニーズに応じた指導や支援（教材の工夫など）を行っていますか。91%が肯定的 ②全職員の90%が支援について考え、校内組織を活用して取組むことができたと思っている。 【保】学校は、保護者から受けた相談などに対して（個別面談、電話相談など）、解決に向けて取り組んでいますか。96%が肯定的	①支援方法の実践の研修会を行う。 ②校内組織を活用する前に、クラスや学年会で児童生徒について話し合い、一人ひとりのスキルアップを図る必要がある。	①支援方法の実践の研修会を行う。 ②校内組織を活用する前に、クラスや学年会で児童生徒について話し合い、一人ひとりのスキルアップを図る必要がある。	①支援方法は行っているが、引出しの広がりが必要である。 ②校内組織を活用して取組むことはできているが、活用前にクラスや学年での話し合いが不十分である。	①支援方法の実践の研修会を行う。 ②事前にケース会議簡易シート等を使い、クラスや学年で話し合う。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月5日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しみ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。	①地域の資源を活用した授業を展開するとともに、教育課程での位置づけを明確にする。 ②スポーツフェスタ、あおばフェスタの行事の在り方を検討する。	①-1 地域の資源を活用した授業を行う。 ①-2 校内研究の中で整理していく。 ②保護者や地域の方の参加方法について検討する。	①-1 地域の資源を活用した授業を行うことができたか。 ①-2 校内研究の中で整理することができたか。 ②保護者や地域の方の参加方法について検討する。	①-1 全職員の88%の職員ができたと思っている。 【保】学校は、居住地交流や学校間交流などの交流及び共同学習に積極的に取組んでいますか。94%が肯定的 ①-2 全職員の76%が肯定的であるが、整理できていない。 ②スポーツフェスタについては、次年度実行委員会を立ち上げ、再来年度地域に移行するための準備を行う。	①-1 地域貢献活動一覧表を更新し活用できるようにする。 ①-2 引続き校内研究の中で取組んでいく。 ②実行委員会を立ち上げ準備を行う。	①-1 学校に協力しているボランティアにアンケートを取っているので、共有できるとよい。 ①-2 引続き校内研究の中で取組んでいく。 ②実行委員会を立ち上げ準備を行う。	①-1 地域貢献活動表を更新するとともに、活動終了ごとに、ボランティアの意見を取入れ、次の活動に活かす。 ①-2 校内研究で取組む。 ②実行委員会を立ち上げ準備を行う。	①-1 地域貢献活動表を更新するとともに、活動終了ごとに、ボランティアの意見を取入れ、次の活動に活かす。 ①-2 未整理である。 ②スポーツフェスタについては、方向性を決めることができた。
5	学校管理学校運営	児童・生徒、保護者、教職員、地域と誰もが、安全・安心で使いやすく整った教育環境の充実を図る。	①仕事の効率化を図るために、データと資料の整理し引継ぎができるよう取組む。 ②学校から地域、保護者への情報発信内容を整理する。 ③児童生徒の安全を守るための研修会や校内会議、Teams等を活用し、必要な体制を周知し、訓練や緊急シミュレーションを通して行動の定着を図る。	①学部、グループごとに、使用しないデータを消去する。 ②現在発信されている便りの内容を整理し、発信していく。 ③-1 児童生徒の保健に関する研修会を実施する。 ③-2 避難訓練やシェイクアウト訓練、捜索訓練等を行う。	①学部、グループごとに、使用しないデータを消去することができたか。 ②保護者、地域の方にアンケートを実施し、内容を変更し発信することができたか。 ③-1 児童生徒の保健に関する研修会を実施することができたか。 ③-2 避難訓練やシェイクアウト訓練、捜索訓練等を行うことができたか。	①データ消去を進めているが全職員の63%が肯定的である。 ②保護者、地域の方にアンケートを実施し、内容を変更し発信することができた。 ③-1 研修会を実施することができた。 ③-2 訓練を実施し、全職員の96%が緊急時の動きを身に付けられたと思っている。	①引き続きデータの整理に取組む。 ②ホームページの内容と発信の手続き（誰が作成し発信するのか）を検討する。 ③-1 本校の手引きやガイドラインを必要に応じて改定し周知を図る。 ③-2 物品移動を含めた避難訓練が必要である。	①データ整理日の設定、実施の有無のチェック機能が必要である。 ②ホームページの内容を変更し、発信することができた。ホームページの内容を見直す必要がある。 ③-1 本校の手引きやガイドラインを必要に応じて改定し周知を図る。 ③-2 地域の避難訓練に引き続き参加してほしい。	①データは整理されつつある。 ②便りの内容を変更し、発信することができた。ホームページの内容を見直す必要がある。 ③-1 周知することはできたが、毎年内容が変更され伝える必要がある。 ③-2 緊急時の動きを身に付けることはできた。避難訓練では、児童生徒の避難で終わっているが、物品の移動を含めた様々な動きを行ったことがない。	①引き続きデータの整理に取組む。 ②ホームページ内で、学校の様子の何をどのような手続きで進めるか検討する。 ③-1 引続き実施する。 ③-2 夏季休業中に、職員だけで、物品を移動する訓練を計画している。